

目 次

<p>I . センターの運営に関する事項 2</p> <p>1 . 通常総会の開催</p> <p>2 . 理事会の開催</p> <p>3 . 評議員会の開催</p> <p>4 . 会員について</p> <p>5 . 事務局について</p> <p>6 . 職員・ボランティアスタッフについて</p> <p>II . センターの事業に関する事項 8</p> <p>1 . 政策提言（アドボカシー）活動 8</p> <p>（1）NPO税・法人制度改正関連</p> <p>（2）地域のNPO施策に対する提言</p> <p>（3）NPOの政策提案力の開発とNPOの参画を保証する自治体の政策形成システムの提案プロジェクト</p> <p>（4）その他</p> <p>2 . マネジメントサポート（相談・講座・NPO向け講師派遣） 12</p> <p>（1）せんだいCARE Sの実施</p> <p>（2）VOICE OF NPO PROJECT 2003の企画・実施</p> <p>（3）実践型コミュニティビジネス開発講座の企画・実施</p> <p>（4）コミュニティ・ビジネス実践研究会</p> <p>（5）「みやぎNPO支援センターネットワーク」巡回研修・交流事業の実施</p> <p>（6）NPO実践講座の企画・実施</p> <p>（7）NPO経営相談</p> <p>（8）その他、講師派遣</p> <p>3 . ネットワーキングサポート 22</p> <p>（1）セダードサロンの主催・企画・開催</p> <p>（2）PONPO-NETの開催</p> <p>（3）企業とNPOの交流・連携のための巡回フォーラムの企画・実施</p> <p>（4）各地NPO推進機関との連携</p>	<p>4 . 情報サポート 25</p> <p>（1）NPO情報ライブラリー</p> <p>（2）情報の収集</p> <p>（3）情報の発信</p> <p>（4）書籍販売「みんなん堂」</p> <p>（5）各種取材への協力</p> <p>5 . 調査・研究・コンサルティング事業（行政・企業向け講師派遣・相談・委託） 27</p> <p>（1）NPOへの人財サポートプログラム開発 2003</p> <p>（2）地域貢献活動相談センター</p> <p>（3）みやぎ青年育成推進事業・みやぎ地球市民すくすく計画への講師派遣</p> <p>（4）まち美化に関する市民活動推進のための支援事業</p> <p>（5）百年の杜づくりフォーラム管理運営業務</p> <p>（6）起業育成・支援事業（アクティブシニア・ビジネス部門）企画・運営</p> <p>（7）石巻地域新市まちづくり計画検討委員会運営支援業務</p> <p>（8）クリーン推進仙台員グループ学習会</p> <p>（9）その他自治体職員向け研修・講師派遣</p> <p>6 . 特別事業 35</p> <p>（1）サポート資源提供システムの運用</p> <p>（2）仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営</p>
---	---

2003年度 収支報告

収支決算書 / 財産目録 / 貸借対照表

こちらのページをご覧ください

http://www.minmin.org/Whats_se_mi/yosankessan.htm

資料編 （略）

I . センターの運営に関する事項

1 . 通常総会の開催

(1) 第 5 回通常総会

日 時 : 2003 年 9 月 6 日 (土) 14 : 30 ~ 17 : 00

会 場 : 仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール

議 事 : 2002 年度事業報告・決算の承認

2003 年度事業計画・予算の審議・決定

出席者数 : 正会員 出席 26 名、委任状提出 59 名、合計 85 名 (正会員 131 名中)

(2) 記念セミナー

日 時 : 2003 年 9 月 6 日 (土) 18 : 40 ~ 21 : 00

会 場 : 仙台市シルバーセンター 第 1 研修室

内 容 : (i) 「地域貢献サポートファンドみんな」助成団体発表

宮城県労働者福祉協議会 ふくふくファンド * 以下、助成先

子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ

特定非営利活動法人 ソキウスせんだい

C I L たすけっと

お祭りくらぶ。 * 以下、助成先

東北H I Vコミュニケーションズ

特定非営利活動法人 蕪栗ぬまっこくらぶ

みんなファンド (冠ロータリークラブ、日専連ライフサービス、

加藤哲夫) * 以下助成先

チャイルドライン in M I Y A G I

(ii) 基調講演「協働と改革の未来に向けて」

北川正恭氏 (早稲田大学大学院公共経営研究科教授、前三重県知事)

(iii) 鼎談 北川正恭氏

大滝精一 (当センター代表理事、東北大学大学院経済学研究科
教授)

加藤哲夫 (当センター代表理事、日本NPOセンター理事)

出席者数 : 118 名

2. 理事会の開催

2003年7月～2004年6月：12回開催。

特に記載がない場合は、会場はせんだい・みやぎNPOセンター。

第49回理事会

日時：2003年7月25日（金）19：30～21：00

- ・ 2002年度決算と事業報告について
- ・ 第5回通常総会について
- ・ 地域貢献サポートファンドについて
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター管理運営の変更協議について
- ・ 入会者承認

第50回理事会

日時：2003年8月19日（火）18：30～21：00

- ・ 2002年度事業報告と決算について
- ・ 2003年度事業計画案と予算案について
- ・ 災害時の組織的対応について
- ・ 入会者承認

第51回理事会（総会直前）

日時：2003年9月6日（土）13：13～14：00

場所：仙台市市民活動サポートセンター会議室

- ・ 第5回通常総会の議案について
- ・ 入会者承認

第52回理事会（理事合宿）

日時：2003年9月27日（土）15：50～18：00

28日（日）9：30～15：30

場所：フォルクローロ松島

- ・ 中期計画立案
- ・ 評議員の最終決定
- ・ 入会者承認

第53回理事会

日時：2003年11月19日（火）19：00～21：30

- ・ 基金について
- ・ 次年度への組織体制について
- ・ 入会者承認

第54回理事会

日時：2003年12月17日（水）19：00～20：30

- ・ 宮城県の冠ファンドについて
- ・ 指定管理者制度における次年度以降の仙台市市民活動サポートセンター管理運営について
- ・ 入会者承認

第55回理事会

日時：2004年1月20日（火）19：00～21：00

- ・ 人事について
- ・ 宮城県の冠ファンドについて
- ・ 当センターの中間決算について
- ・ 入会者承認

第56回理事会

日時：2004年2月19日（木）19：20～21：40

- ・ 求人状況について
- ・ みんな共済について
- ・ 指定管理者制度に伴う件について
- ・ みやぎNPO夢ファンドについて
- ・ 入会者承認

第57回理事会

日時：2004年3月19日（金）18：30～21：00

- ・ 人事について
- ・ 来年度事業について
- ・ 理事によるスタッフへのメンター制度について
- ・ 入会者承認

第 58 回理事会

日時：2004年4月17日（土）12：45～16：00

- ・ 今後の事業戦略
- ・ 次期役員候補について
- ・ 入会者承認

第 59 回理事会

日時：2004年5月20日（木）19：00～21：30

- ・ 次期理事と次期評議員について
- ・ 当センターのリスクマネジメントについて

- ・ マイクロソフト社の社会貢献プログラムについて

- ・ みんな共済について
- ・ 入会者承認

第 60 回理事会

日時：2004年6月21日（月）19：00～21：30

- ・ 次期理事と次期評議員について
- ・ 会計システムについて
- ・ 入会者承認

3. 評議員会の開催

第 6 回評議員会

日 時：2003年10月7日（火）18：00～20：00

場 所：仙台市戦災復興記念館 4階 第2会議室

内 容：2002年度事業報告及び収支決算について
2003年度事業計画及び収支予算について
意見交換

参加者数：9名、理事3名、事務局4名

第 7 回評議員会

日 時：2004年4月20日（火）18：00～20：00

場 所：仙台市戦災復興記念館 4階 第1会議室

内 容：2003年10月～2004年3月の事業報告について
2004年度の運営の見通しについて
意見交換

参加者数：11名、理事7名、事務局6名

4. 会員について

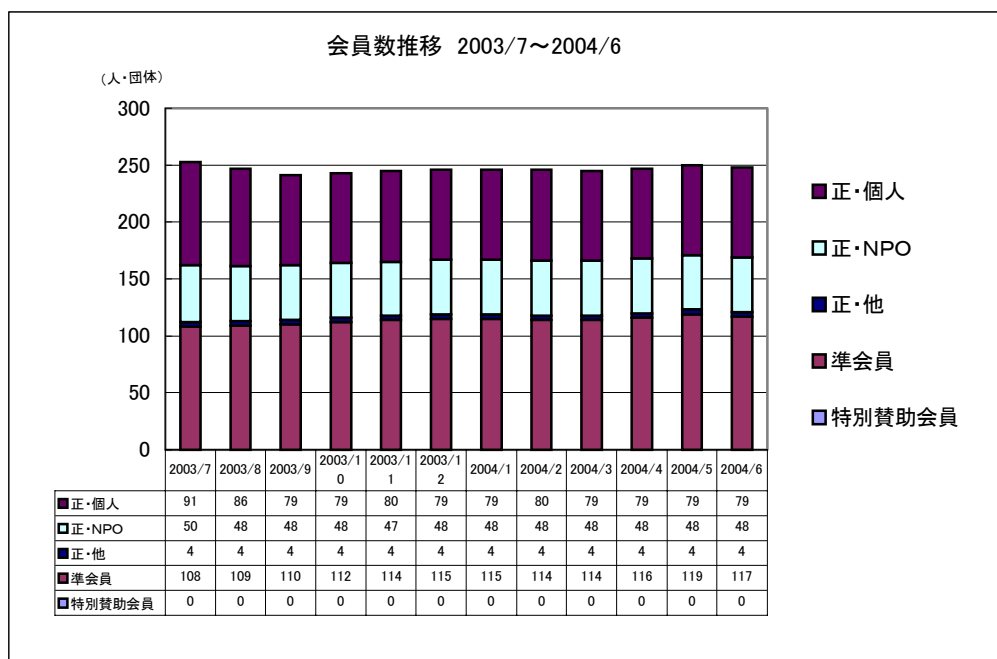
2003年度の会員数の変動

2003年7月期 会員総数 253 団体・個人

2004年6月期 会員総数 248 団体・個人（5）

総数では残念ながら、250 団体・個人の前後を行き来している状況である。

各種別でも、年間を通じて変動が少なかった。



5. 事務局について

(1) 事業・運営会議の開催

2003年7月～2004年6月：22回開催（隔週）

事業企画、組織運営に関する業務について進捗状況の報告や事業遂行のための審議・検討を行う。

参加者：常務理事、事務局長、大町事務局勤務スタッフ、仙台市市民活動サポートセンター勤務スタッフ1名

第64回：7/10	第65回：7/24	第66回：8/19	第67回：9/8	第68回：9/25
第69回：10/7	第70回：10/20	第71回：11/6	第72回：11/17	第73回：12/16
第74回：1/13	第75回：1/26	第76回：2/10	第77回：2/26	第78回：3/8
第79回：3/23	第80回：4/8	第81回：4/23	第82回：5/10	第83回：5/25
第84回：6/8	第85回：6/22			

(2) 事業企画戦略会議の開催

2003年7月～2004年6月：14回開催

事業企画の検討・調整・決定、等。

参加者：常務理事、事務局長、事務局次長

第20回：7/15	第21回：8/21	第22回：9/18	第23回：10/16	第24回：11/20
第25回：12/18	第26回：1/6	第27回：2/3	第28回：2/19	第29回：3/19
第30回：4/9	第31回：5/14	第32回：5/20	第33回：6/17	

(3) センター会議の開催

2003年7月～2004年6月：11回開催

組織全体（戦略）の情報共有。スタッフの研修・スキルアップの場。唯一のスタッフ全員参加会議。（毎月第4水曜日）

参加者：常務理事、事務局長、全スタッフ

7/30：今後のセンター会議について、カラフェス振り返り、プレゼン「仙台市市民活動サポートセンターについて」

8/27：人材サポート調査について、2002年度事業報告・決算、2003年度事業計画・予算について、災害（非常時）対策について

9/24：当センター災害対策について、横山理事を囲む会、プチ会計講座、

10/29：人材サポートプログラム2003 ヒアリング状況について、せんだいCARE S

11/26：せんだいCARE S、コミュニティビジネス開発講座、
データ管理・個人情報の扱いについて

12/24：NPO法5周年記念報告、NPOと企業の協働フォーラム報告、みんな共済運用報告、せんだいCARE S最終報告、黒澤理事を囲む会

1/28：当センターの今後に向けて、採用計画について、引継ぎ状況について、
退職スタッフからのメッセージ

2/25：スタッフ採用報告、当センターの中間決算について、センドードサロンについて、
オススメ情報&現在進行形、退職スタッフからのメッセージ

3/31：スタッフ採用計画、センドードサロンの来年度の方針について、
PONPO-NETの来年度の方向性について、退職スタッフからのメッセージ

4/28：市民参加と協働についての疑問解決セッション、退職スタッフからのメッセージ

6/30：研修報告、スタッフオススメ情報&現在進行形、当センターの7月からの事業担当一覧、
当センターの年度末・新年度を迎えるにあたって

6. 職員・ボランティアスタッフについて

(1) 職員体制（2004年6月末現在）

今年度は、2月～4月にかけて、新旧のスタッフ交代が行われた。これは、支援センタースタッフとしてキャリアを積み、巣立ちの時期を迎えたスタッフ5名の新たな旅立ちによるものである。そのため、サポートセンターでは、新たに5名のスタッフを雇用することとなり、それに伴うリスクに備えたサービス体制の組織的強化と見直しが行われた。

せんだい・みやぎNPOセンター勤務（仙台市青葉区大町）

常務理事：2名 加藤 哲夫・紅邑 晶子

事務局長：1名 紅邑 晶子

事務局次長：2名 青木ユカリ、遠藤 智栄

常勤職員：2名 遊佐さゆり、工藤 寛之(04.1~休職)、

門間 尚子(～04.3.31)、

非常勤職員：1名 高田 篤、渋谷小百合(04.1.15～3.31)

仙台市民活動サポートセンター勤務(仙台市青葉区本町)

センター長：1名 青木ユカリ

副センター長：1名 松尾 敏行(～04.4.30)

常勤職員：10名 伊藤 浩子(04.3.15～)、遠藤 孝志、小松 州子(04.9.1～)

佐藤 友里(04.4.21～)、中津 涼子、能藤 玲子(04.3.1～)、

八田 篤司(04.3.1～)、本田 ふみ(04.3.15～)、真壁さおり、

渡辺 幸代(04.4.5～)

菅野 郁美(～04.2.20)、田中 聡子(～04.4.30)、中務 恵美(～04.3.20)、

畠山未津留(～03.9.30)、布田 裕子(～04.4.30)、松尾 敏行(～04.4.30)、

非常勤職員：3名 小口 翠、瀧澤 陽子、田口 暁子、佐藤 友里(～04.4.20)、

(2) ボランティアスタッフとの関わりについて

さまざまな形でボランティアスタッフに事業や事務局をサポートしていただいた。

ボランティア：10名

お名前：杵淵正幸さん、門間裕美さん、町田倫子さん、アライさん

広報サポートTEAMてんぽて：

秋野綾子さん、葛西淳子さん、鈴木淳子さん、高橋由起子さん

蕪澤 忍さん、二川雅征彦さん

(3) インターンシップの受け入れ

みやぎ地球市民すくすく計画2003 青年リーダーすくすくプログラムより：

須藤健太郎さん(03.9)

ジョブ・トライアルより：阿部 望さん(03.11)

II . センターの事業に関する事項

1 . 政策提言（アドボカシー）活動

（1）NPO税・法人制度改革関連

1) NPO法制度・税制度（公益法人制度改革）学習会の開催

前年度来、大きな問題となっている「公益法人制度改革」について、2003年6月27日に政府の基本方針が示された（公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針）。この方針を受けて、2003年7月と2004年2月の計2回、学習会を開催した。2月の学習会については、年度後半に検討が進んだ宮城県のNPO支援基金「みやぎNPO夢ファンド」についてもあわせてテーマとすることで地域の関心の喚起を図った。

(i) 「あれからどうなった？ これからどうなる！ なくなるのかNPO法人制度？？」

公益法人制度改革の行方は？！」の開催

実施：2003年7月5日（土）

13：00～14：30（第1部） 14：30～17：00（第2部）

会場：仙台市市民活動サポートセンター

セミナーホール（第1部） 研修室1（第2部）

参加者数：23名

主催：当センター

協力：シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会

2部構成で実施。第1部「どうなった！？公益法人制度改革 最新情報」では、シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会事務局長の松原明氏から、進行中の公益法人制度改革の最新情報について講演いただいた。第2部「どうなる？！NPO法人制度 徹底討論 NPOに何ができるのか？？」では、第1部の内容を受けて、政府案の問題点やNPO側からできること等について議論を展開した。

(ii) 「NPOを支えるしくみが変わる！ 宮城県NPO支援基金の最新情報、そして、NPOを支える法制度は今後どうなっていくのか？」の開催

実施：2004年2月1日（日） 13：30～17：00

会場：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール

参加者数：30名

主催：当センター

協 力：NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会

NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会が全国各地で開催する勉強会の一環として開催したもの。2部構成で実施。

第1部「NPO法5周年・NPOを支える社会の仕組みを振り返り、今後を展望する」では、話題提供者として日本NPOセンター常務理事・法政大学現代福祉学部教授の山岡義典さんをお招きし、施行5周年を迎えたNPO法の意義や、NPO法人制度の動向、公益法人制度改革の影響などについてお話いただいた。

続く、第2部「では、地域でNPOを支える仕組みをどうするか？ 宮城県によるNPO支援基金の現状」では、話題提供者として宮城県環境生活部NPO活動促進室室長の青山桂子さんをお招きし、2004年度から助成を開始する「みやぎNPO夢ファンド」についてお話いただいた。

2) NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会などへの参加・協力

- (i) 勉強会開催協力(2004年2月)
- (ii) シーズ=市民活動を支える制度をつくる会へのカンパ提供

2003年7月のセミナー会場で募ったカンパ¥11,000-を、シーズ宛提供した。

政府の方針が定まらないこともあり、公益法人制度改革に対する取り組みはその方向性が見出し難いままとなっている。全国との情報交換による戦略の確定と、地域のNPOセクターにおける関心の喚起が今後の課題となる。

(2) 地域のNPO施策に対する提言

1) NPO政策意見交換会の開催

2000年度より開催してきたこの意見交換会については、残念ながら今年度は低調な開催となった。開催の方法やテーマ、事務局体制などについて検討が必要になっている。

主 催：当センター

第9回 実施：2003年7月4日(水)

県議会の審議延長につき流会、資料配布のみ。

第10回 実施：2003年10月3日(金) 19:00~21:00

(後述の「NPO政策提案力パワーアップセミナー」の中での意見交換)

(3) NPOの政策提案力の開発とNPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案プロジェクト

NPOの「政策提案力」を構成する要素の検証や「政策提案力」を高めるプログラムの開発、さらに、NPOの政策提案に対応する自治体の政策形成システムの提案などを行うことを目的としたプロジェクト。特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ、特定非営利活動法人市民活動センター神戸、当センターの3者共同で実施した。プロジェクトのうち、当センターが関連した部分については、以下の通りである。

1) 共同者会議への参加

第1回 実施：2003年5月23日（金） 14：00～17：00

会場：フォーラムよこはま（神奈川県横浜市）

第2回 実施：2003年10月3日（金） 14：00～17：00

会場：仙台市市民活動サポートセンター

第3回 実施：2004年3月5日（金） 14：00～17：00

会場：こうべまちづくり会館（兵庫県神戸市）

2) 政策提案の先駆事例についての学習会（公開フォーラム）の開催

第2回共同者会議の後、特定非営利活動法人情報公開クリアリングハウス室長の三木由希子さんをお招きして、「NPOの政策提案力パワーアップセミナー」を開催した。

実施：2003年10月3日（金） 19：00～21：00

会場：仙台市市民活動サポートセンター

参加者数：36名

3) ヒアリング調査の実施

地域の個別NPOによる政策提案の現状と課題について、以下の通りヒアリング調査を実施した。

特定非営利活動法人 宮城県断酒会（9月17日）

東北HIVコミュニケーションズ（9月25日）

特定非営利活動法人 ほっとあい（11月27日）

町村部（宮城県大河原町）での提言活動についてヒアリング。

宮城県のNPO支援施策について（12月23日）

3団体（特定非営利活動法人グループゆう、MIYAGI子どもネットワーク、特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる）から、各団体が県のNPO支援策について行ってきた提言の経緯とその評価についてヒアリング。

仙台市民オンブズマン 小野寺氏のお話を聞く（3月3日）

（みやぎNPO支援センターネットワーク主催セミナーへの参加）

4) 共同者仙台メンバー会議

期間内に9回開催。調査の方向性や既存の政策形成の仕組み、事例分析のフレーム等について検討した。

(4) その他

行政等による各種委員会、審議会等への委員委嘱協力：18件（委嘱順）

	名 称	主 催	期 間
1	宮城県民間非営利活動促進委員会	宮城県	H13.10.1～H15.9.30 H15.10.1～H17.9.30
2	仙台市市民公益活動促進委員会	仙台市	H14.1～H16.12 H16.1～H17.12
3	仙台市廃棄物対策審議会	仙台市	H14.7.1～H16.6.30
4	仙台市都市計画審議会	仙台市	H14.8.1～H16.7.31
5	仙台都市圏総合都市交通協議会	宮城県	H14.9.10～H17.3.31
6	グリーン電力基金運営委員会	(財)東北産業活性化センター	H15.1～H16.12
7	仙台国際音楽コンクール関連事業企画委員会	(財)仙台市市民文化事業団	H15.2.26～H16.12.31
8	(財)宮城県地域振興センター評議員会	(財)宮城県地域振興センター	H15.4.1～H17.3.31
9	仙台市太白区まちづくり活動助成事業評価委員会	仙台市	H15.5.21～H17.3.31
10	地方制度調査会専門小委員会	内閣府	H15.7.18
11	本町商店街振興組合調査事業委員会	宮城県商店街振興組合連合会	H15.8～H16.3
12	仙台市子ども家庭支援センター管理運営団体選考委員会	仙台市	H15.10～H16.1
13	社会教育委員	仙台市	H15.11.1～H17.10.31
14	宮城県民間非営利活動プラザ運営協議会	宮城県民間非営利活動プラザ	H16.4.1～H16.3.31
15	仙台市環境審議会	仙台市	H16.4.1～H18.3.31
16	宮城県地球温暖化防止活動推進員研修事業企画検討委員会	(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	H16.5.7～H17.3.31
17	(仮称)杜の都の市民環境教育・学習推進会議	(仮称)杜の都の市民環境教育・学習推進会議	H16.5.24～H17.3.31
18	みやぎボランティア総合センター運営委員会	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	H16.6.1～H18.5.31

2. マネジメントサポート（相談・講座・NPO向け講師派遣）

（1）せんだいCARESの実施

企業人のNPO体験 120万人キャンペーン「せんだいCARES」プロジェクト

助 成：日本財団

実施期間：キャンペーン実施 2003年11月1日から11月30日

キャンペーン広報開始 10月1日より

企画コンセプト：

「せんだいCARES」は、仙台圏域に在住する120万人に対して行う市民とNPO・市民活動団体をマッチングする一大月間キャンペーンプロジェクトである。企業市民に対しては、ボランティアへの参加を通じ社会参加の機会を提供し、一方の企業市民を受け入れるNPOに対しては、NPOの最大の経営資源である「人」を確保する機会を提供する。これにより仙台というまちを相互のセクターが同じ市民という立場でより住みやすく「CARE（世話）」するというものである。

企画概要：

NPOの最も重要な資源である「人」に焦点を当て当センターでは2002年度にNPO・市民活動団体と企業を結ぶ「NPOへの人財サポートシステムの開発」と、NPO・市民活動団体と市民を結ぶ「VOICE OF NPO PROJECT」を行った。この2つの事業で蓄積したノウハウやサポート資源提供システムで培ったネットワークを基に、今年度は特に企業市民に的を絞り「せんだいCARES」を行った。「せんだいCARES」では、企業人がNPO・市民活動団体に参加する機会を創出するとともに、NPOに対する社会的認知を高めることを11月の1ヶ月間を使って効果的に行うことを目的にした。

内 容：1. キャンペーンツールの製作

2. ボランティアメニューパンフレットの製作

3. キャンペーンの実施

4. アンケートの実施

成 果：

1. 分野を超えた一大キャンペーンの実施

NPO・市民活動団体20団体、企業10社のキャンペーン参加を目標としていたが、25のNPOと262の協力企業、22の後援を得ることができた。なかでも、32の協力企業が積極的に広報ツール（ポスター、パンフ、ポストカード）の配布・掲示などに協力してくださった。また、社内で社員からの高い評価を得た企業もあったようである。参加者数は、34,000人を超えた。

2. NPOへの人材の供給

ジャンルを超えたNPOと企業による広報が行われたことで、いつも情報を

届けられなかった市民への広報ができ、30%の団体が、ボランティアスタッフや会員・寄付者が増えていた。また、イベント参加者の増加した団体は、20%あった。

3. セクター（企業・NPO・行政・市民）を超えたパートナーシップの構築

このキャンペーンをきっかけに、企業とNPOが連携する機会ができた（企業窓口にチラシを配置できた、イベントの際の協力が得られたなど）という報告もあった。

（2）VOICE OF NPO PROJECT 2003の企画・実施

「NPOの広報戦略をサポートする情報発信プログラムと広報・編集ボランティア育成インターンシップシステムの開発」

助 成：日本財団

実施期間：2003年9月～2004年8月

準備開始：2003年8月より

企画のコンセプト：

NPOにおける広報・情報発信において、その担い手が著しく不足している状況を打開するため、昨年度、(i)NPOの広報力を上げ、(ii)その新たな担い手を養成することを目的に、本事業を実施した。

本年度は、さらにこの事業を発展充実させ、企業人や行政職員、学生などを対象として、新たな広報の担い手となる市民の育成をめざした。また、講座の内容もより実働的なプログラムを組み入れ、講座回数を増やし受講による成果を実感できるものを提供した。なお、同時に「せんだいCARES」や「サポート資源提供システム」等の事業との連携を図りながら、セクター間の人材交流を推進した。

企画概要：

1. NPO向けプログラム 3回、市民向けプログラム 5回、合同プログラム 2回
2. NPOへの編集ボランティアインターンシッププログラムの実施
NPO 12団体、市民ライター&デザイナー21名
3. 公開コンペの開催 参加者123名
4. 広報・情報発信マネジメントプログラム講座テキストの制作
コミュニケーションワークブック『市民のチカラ水（みず）』
5. 昨年の市民受講生によるNPO広報サポートチーム〔てんぼて〕の講座サポート
6. 2003年版『NPO広報ファクトリー』改訂版の制作 『NPO広報カルテ』

成 果：

1. 市民ライター&デザイナーに企業人・行政職員・学生が参加
講座の時間を夜に設定したことで、企業人・行政職員・学生が参加した。また、講座の内容もより実働的なプログラムとなるよう、受講時間を短くして講座回数

を増やし、参加型の内容にしたプログラムを心がけた。

2. ボランティアマネジメントのサポート

昨年同様、パンフレットの制作中の団体と市民ライター&デザイナーとのコミュニケーションがうまく取れないケースが見られたが、昨年の経験を生かして、プロジェクトマネジャーがアドバイスをを行い、すべての団体が公開コンペにパンフレットを提出できた。

3. セクター間の連携

「せんだいCARES」や「サポート資源提供システム」「みやぎNPO支援センターネットワーク」等の事業に関連する団体に呼びかけを行ったことで、昨年以上に広がりのある参加があった。

4. 講座で得た内容や参加者の声を再編集した成果物の発行

講座の中で7人の講師が伝えた技と智恵、25のNPOと50人の市民ライター&デザイナーが発した声を生かして、

(ア) VOICE OF NPO PROJECT 2003 まるごと Hypertext Book

(イ) NPOの入り口に立つ人へのコミュニケーションツール

「市民のチカラ水(みず)」

(ウ) NPOの広報担当者に送る広報ファクトリー改訂版「NPO広報カルテ」を制作する予定である。

(3) 実践型コミュニティビジネス開発講座の企画・実施

主 催：財団法人仙台市産業振興事業団

企画・実施：当センター

この数年、事業者や市民のコミュニティビジネスに関する興味関心が、年毎に高まっている。「地域をもっと住みよくしたい」「困っている人たちを助けたい」という気持ちは事業として成り立たせることに興味を持つ人々が増えてきた。昨年、平成14年度事業として企画・実施した「コミュニティ・ビジネス開発講座」の成果を踏まえそして生かしながら、よりコミュニティビジネスを分かりやすく示し、事業化をサポートする企画を実施する。実施にあたり、次の3点にねらいを定めて取り組んだ。

(i) コミュニティにおける機会を捉える事業、コミュニティのニーズと課題に応える事業としてのコミュニティビジネスの基本的概念をしっかりと理解する事業者、起業者をつくる。

(ii) 事業展開の仕方において、NPO的なマーケティングやNPO的事業モデル、関係者の巻き込み方を理解する事業者、起業者をつくる。

(iii) 上記(i)・(ii)によって、既存の事業者に対しても、コミュニティビジネスへの新規事業展開のヒントとなるような情報提供をめざすとともに、フランチャイズ店の開店のような起業ではなく、創業の名に値するコミュニティビジネスの起業者

の育成をめざす。

実施しての成果

- (i)「講座のねらい」の達成
- (ii)潜在していたターゲットを開拓することができた
- (iii)講座を一定のスタッフが継続して実施することで、効果の高い講座を実施することができた
- (iv)プチ企画の実践で起業への第一歩を踏み出すことができた
- (v)参加型の講座スタイルを実施することで、交流と情報の交換が進んだ

実施スケジュール

広報・受付期間：6月中旬～7月中旬

講座等実施期間：7月22日（火）～11月18日（火）

講座等実施回数：9回

講座の時間帯：18時30分～21時30分（180分）

会場：第1・2・3・4・5・7・9回 Nestせんだい

第6回 仙台市情報産業プラザセミナールーム

第8回 （財）産業振興事業団 相談室

（4）コミュニティ・ビジネス実践研究会（自主事業）

実施期間：2003年4月～2004年3月

実施内容：

月1回ペースでコミュニティ・ビジネスについての研究会を開催する予定で実施。当センター担当理事の川村志厚理事、山田晴義理事による「コミュニティ・ビジネス考」に始まり、その後参加者からの事例紹介、ゲストを招いてのケーススタディなどを行った。参加者は、当センタースタッフに加え、行政関係者、大学生、大学教授なども参加して行われた。9月以降、現場視察を予定していたが、相手先の都合と参加者の都合がつかず、断念した。参加者それぞれのこの1年の成果発表を行ない3月をもって終了した。

2003年4月17日 第1回 コミュニティ・ビジネス考（話題提供：川村・山田）

2003年5月8日 第2回 コミュニティ・ビジネス考（話題提供：加藤・遠藤）

2003年6月5日 第3回 コミュニティ・ビジネス考（話題提供：増田・三瓶）

2003年7月11日 第4回 コミュニティ・ビジネス考（話題提供：斎藤・石田）

2003年9月11日 第5回 コミュニティ・ビジネス考（話題提供：遠藤）

2004年3月16日 第6回 それぞれのCB実態報告会

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

時間：19：00～21：00

研究会参加者数：20名

成 果：

コミュニティ・ビジネスに関する関心が高まるなか、その認識はさまざまであったため、コミュニティ・ビジネスの共通認識をもつことを目的に始まったこの研究会であったが、事例を持ち寄ることによりコミュニティ・ビジネスの幅広い意味合いが明らかになった。また、実際にコミュニティ・ビジネス講座を実施するなかで、都市部と地方部での捉えられ方の違いなども明らかになった。

(5)「みやぎNPO支援センターネットワーク」巡回研修・交流事業の実施

主 催：みやぎNPO支援センターネットワーク

参加団体：特定非営利活動法人 気仙沼まちづくりセンター

特定非営利活動法人 パートナーシップ古川

特定非営利活動法人 いしのまきNPOセンター

白石市民活動フォーラム

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

助 成：(社福)宮城県共同募金会

「みやぎNPO支援センターネットワーク」は、宮城県内の5つの民間NPO支援センターにより2001年度に結成した。これまで相互に交流を深めながら、サポート能力向上とサービスメニュー開発を行い、支援力UPと地域のNPOとのネットワーク形成を図ってきており、3年目にあたる2003年度は、引き続き5つの支援センターが協力して企画の開発・運営を行いながら、開催地を古川、石巻、仙台の3ヶ所に絞った巡回講座を実施した。

特に今回は、「人材育成」「資金調達」「政策提案・組織運営」を中心として、地域のNPOの活動事例から学ぶという構成にした。成果品として、冊子を編集した。

各地域のNPOは確実に力をつけてきており、NPO支援センターもこれに応えることができるように自らを磨いていかなければならない。その意味で地域のNPOと共に開催することができた一連の講座は、地域のNPOの多くの可能性と出会うことができた貴重な機会になった。

(i)「NPO人材基礎講座」

日 時：2003年10月5日(日)13:30~17:30

会 場：古川NPO支援センター

(ii)「NPO資金調達決定版」

日 時：2003年11月8日(土)13:30~17:30

会 場：石巻ルネッサンス館

(iii)「仙台市民オンブズマンに学ぶ！」

日 時：2004年3月3日(水)18:30~21:00

会 場：仙台市市民活動サポートセンター

(6) NPO実践講座の企画・実施(自主事業)

1) 会計講座

(i) 市民活動団体・NPOのための「専門家・税理士による会計・税務相談会」

日 時：2003年12月12日(金)10:00~17:00
場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室4
共 催：特定非営利活動法人 エス・ピー仙台
特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
講 師：上杉廣記氏、加藤哲夫
参加者数：4団体
参加費：2,500円(会員2,000円)

(ii) NPO法人の会計・財務パワーアップセミナー

日 時：2004年2月8日(日)13:00~17:00
場 所：仙台市民会館 第4会議室
主 催：特定非営利活動法人エーピーアイ・ジャパン
共 催：特定非営利活動法人エス・ピー仙台
特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
講 師：赤塚和俊氏、上杉廣記氏、瀧谷和隆氏、福井由紀子氏、加藤哲夫
参加者数：25名
参加費：2,500円(会員2,000円)

(iii) 基礎をしっかりと学ぶ会計実務研修会

日 時：2004年2月16日(月)13:30~17:00
2004年2月17日(火)13:30~17:00
2004年2月18日(水)13:30~16:30
会 場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室4(18日のみ研修室2)
共 催：特定非営利活動法人 エス・ピー仙台
特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
講 師：上杉廣記氏
参加者数：7名
参加費：8,000円

(iv) 基礎をしっかりと学ぶ会計実務研修会(補習)

日 時：2004年4月26日(月)13:00~17:00
会 場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室4
共 催：特定非営利活動法人 エス・ピー仙台

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

講 師：上杉廣記氏

参加者数：2名

参加費：2,000円

2) NPOのためのリスクマネジメント講座 2004

日 時：2004年1月27日（火） 18時30分～20時30分（開場：18時）

会 場：仙台市民活動サポートセンター3階 セミナーホール

主 催：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

協 力：(社)日本損害保険協会東北支部

講 師：(社)日本損害保険協会東北支部事務局長 五十嵐 朗氏

参加費：1,000円（当センター会員：500円）

参加者数：20名

(7) NPO経営相談（自主事業）

アドバイザーの加藤常務理事による毎月の経営相談は、年間32件（月平均2.6件）という数字だが、県外からの相談者も含めて、経理上の相談と並んで、協働に関する相談や経営上の問題解決に関するコンサルティングが多く、全国的に相談先不足をうかがわせるものであった。今後も中堅団体の戦略コンサルティングや起業相談を中心に、役に立つ経営相談の認知向上に努めたい。

また、センター職員の相談スキル向上に向けた取り組みも進めなければならない。

(8) その他、講師派遣

NPO・市民活動団体等向け研修：80件

	研 修 名	主 催	実 施 日
1	「まちづくりの計画と実践」	青葉区まちづくり実践大学運営委員会	2003/7/3
2	かながわNPOマネジメント・カレッジ終了式講演	神奈川福祉事業協会	2003/7/4
3	ファシリテーター研修	日本財団	2003/7/7・18・18・8/8
4	事例報告「具体的な各地のNPO支援センターの取り組み」	(特)日本NPOセンター	2003/7/12
5	白河市民大学講座	白河市生涯学習推進本部	2003/7/12・19
6	実践型コミュニティビジネス開発講座	(財)仙台市産業振興事業団	2003/7/22・29・8/5・9/9・30・10/28・11/4・12・13・18
7	(社福)大阪ボランティア協会NPO推進センター運営委員会研修	(社福)大阪ボランティア協会	2003/7/26
8	百年の杜づくりフォーラム	仙台市建設局	2003/7/26・8/2・30・9/7・10/5・12・25

9	クリーン仙台推進員委嘱式講演	仙台市環境局	2003/8/1
10	まちづくり講習会「NPOを活用した今後のまちづくり～21世紀型都市計画は、NPOとの連携からはじまる～」	福島県都市計画協会	2003/8/7
11	まち美化タウンミーティング	仙台市環境局廃棄物管理課	2003/8/20
12	地震セミナー「阪神大震災の体験から」	仙台国際交流協会	2003/8/24
13	町民活動団体研修会「NPO活動団体と地方公共団体とのパートナーシップについて」	利府町	2003/8/28
14	みやぎ地球市民すくすく計画 2003「市民プロデューサー養成講座」	宮城県環境生活部青少年課	2003/8/30・9/20・28・12/6
15	「エコフェスタ アレマ隊員養成講座」 「アレマ隊出前講座」「アレマ会議」 「アレマ隊活動オープン会場」	仙台市環境局廃棄物管理課	2003/9/7・11/5・7 2004/5/23
16	基礎講座「ミッションとは何か？～その実現のための3本の矢「おもい・情報・計画」	NPO全国フォーラム 2003 北海道会議実行委員会	2003/9/13・14
17	クリーン仙台推進員グループ学習会	仙台市環境局	2003/9/16・10/6・11/4・12/9・2004/1/13
18	21世紀の地方自治土曜セミナー「住民の視線から見た公務員、何が求められているのか」	(財)社会開発研究センター宮城総合研究所	2003/9/20
19	全国ホームタウンサミット in 仙台	ベガルタ仙台市民応援団	2003/9/20
20	宮城・仙台における企業とNPOの連携・協働の取組み～地域貢献サポートファンド、サポート資源提供システムについて～	(社)茨城県経営者協会	2003/9/26
21	市民のためのNPO講演会「NPO・市民活動団体の経営講座」	郡山市男女共同参画課	2003/10/4・2004/2/7
22	インフォーマルサービス協働システム研究モデル事業	宮城野区社会福祉協議会 (特)ゆうあんどあい	2003/10/7・12/15 2004/1/19
23	アクティブシニア・ビジネスコンテスト講習会	宮城県産業経済部産業人材育成課	2003/10/10・12/19 2004/1/8・2/18
24	市民社会とインターネット ネットワーキングの20年と未来への躍進	(特)市民コンピュータコミュニケーション研究会	2003/10/16
25	地域版ボランティアパワーアップ研修「企画コンペ」審査会	宮城県社会福祉協議会	2003/10/20
26	ボランティア活動	せんだい豊齡学園	2003/10/23
27	多文化セミナーオみえ	多文化セミナーオみえ実行委員会	2003/10/25・26・12/13・14・2004/1/24・25
28	みやぎの生き生き地域づくり研修会	宮城県産業経済部農村基盤計画課	2003/11/6
29	役員研修	(特)ほっとあい	2003/11/8
30	(特)やまがた育児サークルランドアドバイザー派遣	南東北中枢広域都市圏構想推進協議会	2003/11/9・12/10 2004/1/22
31	やまもとわたり田園空間博物館活用団体野外ぐるりん友の会リーダー養成講座「NPOの運営」	山元町、野外ぐるりん友の会	2003/11/10
32	理事研修 事務局研修	(特)あかねグループ	2003/11/12 11/15

33	第2回全国教育系ワークショップフォーラム	国立赤城青年の家	2003/11/22・23・24
34	NPO起業・マネジメント講座「NPOの可能性」	(特)いわてNPOセンター	2003/11/25
35	就職未来予想図 2005～選択の時～	就職活動ネットワークWILL	2003/11/29
36	栃木県NPO・ボランティア理解促進講座「NPOは社会を変える」	栃木県、(特)おおきな木	2003/11/29
37	宮城県ボランティアコーディネーター養成研修「基礎講座」	宮城県社会福祉協議会	2003/12/4
38	勤労者ボランティア・シンポジウム仙台	(財)勤労者リフレッシュ事業振興財団	2003/12/4
39	10・BOX演劇道場オープン講座「え！これも市民活動？」	(財)仙台市市民文化事業団	2003/12/11
40	地球環境市民大学校組織マネジメント講座	環境事業団地球環境基金、(特)北海道NPOサポートセンター	2003/12/6・7
41	とちぎNPO・ボランティア交流フェスタ2003講演会「市民活動支援センターに求められるもの」	とちぎNPO・ボランティア交流フェスタ2003実行委員会	2003/12/7
42	多文化セミナーオミエ	(財)三重県国際交流財団	2003/10/25・26・ 12/13・14・ 2004/1/24・25
43	事業のアイデアと仕組みのデザイン	那覇市NPO活動支援センター	2003/12/20
44	つくばまちづくり講座	つくば市、(特)NPOプラザねこねっと	2004/1/13
45	ボランティアコーディネーター研修	東京ボランティア・市民活動センター	2004/1/16
46	JOB変革コース	一新塾	2004/1/17・18
47	宮城県地球温暖化防止活動推進員研修	宮城県	2003/1/17
48	NPOの役割・行政の役割、新しい公共の担い手とは	いわてNPOフォーラム	2004/1/31
49	MYフェスタ	宮城県環境生活部	2004/2/7
50	協働という手	とくしま県民活動プラザ	2004/2/10
51	太白区ボランティア情報交換会	仙台市太白区社会福祉協議会	2004/2/16
52	花と緑のアドバイザーフォローアップ講座	(財)仙台市公園緑地協会	2004/2/18・26・3/4
53	市民企画講座「みんなで話して作る《輪》《話》《和》」	仙台市福室市民センター	2004/2/21・2/28・3/6
54	「NPOいろはのい」	ベガルタ仙台・ボランティア・ネットワーク	2004/2/26
55	「まちづくり条例」意見交換会	仙台商業政策協議会	2004/2/26
56	地域づくり・NPOネットワーク交流促進事業「まちづくりに必要なこと」	水沢地方振興局	2004/2/27
57	NPOフォーラム「これからの公共を考えるフォーラム～市民およびNPOと行政の協働とは～」	(特)いわてNPO NETサポート	2004/2/28
58	市民活動スキルアップ講座「アイデアを魅力ある事業にするために」	福島県中地域NPOネットワーク	2004/2/29

59	我孫子市市民活動レベルアップセミナー「ミッションに沿った事業の進め方と事業計画のあり方」	我孫子市	2004/3/4
60	県民社会貢献活動リーダー等研修	勝山市民活動ネットワーク	2004/3/7
61	「NPO活動リーダーに必要なスキルとIT活用方法」	(特)仙台インターネット推進研究会	2004/3/12
62	第9回Vnetセミナー「市民参画の仕組みづくり～社会教育施設とボランティアのコラボレーション～」	Vnet社会教育施設ボランティア交流会	2004/3/12
63	南郷町男女共同参画ネットワーク研修会	南郷町	2004/3/13
64	塩釜学まちづくり学習 大好き・しおがまシンポジウム	塩釜市	2004/3/13
65	これからの屋敷林を考える討論会	仙台市建設局	2004/3/14
66	「まちづくり条例シンポジウム」	仙台商工会議所	2004/3/16
67	最上オープンカレッジ「今こそ市民活動を!!」	山形県最上総合支庁	2004/3/17
68	百万人の仙台都市デザインフォーラム～30年後の仙台へむけての都市デザイン～	(特)都市デザインワークス	2004/3/24
69	職員研修	(特)杜の伝言板ゆるる	2004/3/28
70	茅ヶ崎市民活動フォーラム2004「今、茅ヶ崎がめざす協働のあり方～協働事例と財政的支援について～」	茅ヶ崎市、(特)茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会	2004/3/27
71	スタッフ研修	HIVと人権・情報センター	2004/4/22
72	NPOフォーラムみやぎ「NPO公開ヒアリング」	民主党宮城県連NPO委員会	2004/5/22
73	「徳島県社会貢献活動の促進に関する条例」普及・啓発イベント講演	徳島県	2004/5/28
74	第22回全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議「市民に向けた」公共施設の民間運営のある方と中間支援組織の戦略	同実行委員会	2004/6/5・6
75	講演会	(特)いしのみまきNPOセンター	2004/6/5
76	講演会	(社)「小さな親切」運動宮城県本部	2004/6/10
77	NPO支援センター初任者研修会	(特)日本NPOセンター	2004/6/11・12
78	わくわく市民活動ゼミナール「NPOの本質とその経営とは」	(財)淡海文化振興財団	2004/6/12
79	みやぎ青年育成推進事業「みやぎ地球市民すくすく計画2004」市民プロデューサー養成講座	宮城県環境生活部	2004/6/19・20・26
80	若林区中央市民センター「中学生版・広報紙作り」	仙台市教育委員会	2004/6/19・26

企業向け内部研修：3件

	研修名	主催	実施日
1	職員研修	河北新報社	2003/10/30 2004/5/21

2	ライフプランセミナー50「社会参加と生きがいづくり」	J T	2003/11/25・28
3	平成16年度東北地区協議会・研修会	日青連東北地区協議会、日専連仙台青年会	2004/5/27

3. ネットワーキングサポート

(1) 市民活動団体の交流広場「センドードサロン」の主催・企画・実施

1996年11月からはじまったこのサロンは、分野の違う市民活動団体の交流と市民活動に関心のある人たちが、様々なテーマで気軽に語り合える広場を作ろうとはじまったもの。毎回タイムリーなテーマを掲げ、市民活動にダイレクトに役立つ情報を提供している。

「蕪栗ぬまっこくらぶ体験訪問」

日 時：2003年7月21日（月・祝）10：00～14：00

場 所：遠田郡田尻町蕪栗沼 参加者数：6名

「戦争に対して仙台にいる私たちができることNPOと市民からはじまるネットワーク」

日 時：2003年8月21日（木）19：00～21：00

場 所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：14名

「その時NPOはどう動いたか、そしてこれからに備えて～宮城県北部連続地震から～」

日 時：2003年9月29日（月）19：00～21：00

場 所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：29名

「NPO 常勤スタッフ交流会！」

日 時：2003年10月23日（木）19：00～21：00

場 所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：15名

「1日限定 箆笥Cafe」*PONPO-NETとの合同企画

日 時：2003年11月22日（土）19：00～21：00

場 所：仙台箆笥伝承館 参加者数：28名

「人を惹きつけるマル秘NPOトークテクを学ぼう！」

日 時：2003年12月18日（木）19：00～21：00

場 所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：32名

「新年交流会2004」

日 時：2004年1月21日（水）19：00～21：00

場 所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：21名

「まちづくりの未来～2003年度・仙台市まちづくり活動助成制度を通して～」

日 時：2003年2月9日（月）19：00～21：00

場 所：仙台市市民活動サポートセンター 参加者数：30名

「NPO 新 スタッフ交流会」

日 時：2004年5月26日（水）19：00～21：00

場 所：せんだい・みやぎNPOセンター 参加者数：13名
「人とペットのよりよい関係づくりのためにNPOができること」
日 時：2004年6月24日（木）19：00～21：00
場 所：仙台市民活動サポートセンター 参加者数：28名

（2）企業とNPOの交流広場「PONPO - NET」の開催

今後のPONPO - NETは、メンバー間の自主運営に切り替わることになり、当センターは協力団体として参加することになった。

「身近な環境問題と企業の取組をみてみよう」

日 時：2003年10月16日（木）18：30～20：45

場 所：宮城ゼロックス コラボレーションルーム

「1日限定 筆筒 Cafe」*セクターサロンとの合同企画

日 時：2003年11月22日（土）13：00～16：00

場 所：仙台筆筒伝承館

「人にやさしいデザインって何だろう？ ～ユニバーサルデザイン事始め～」

日 時：2003年12月9日（火）18：30～21：00

場 所：東北NSソリューションズ（株） 会議室

今年度のPONPOの成果と課題をふりかえり、来年度の方向性や体制の検討をする会

日 時：2004年2月18日（水）18：30～21：00

場 所：東北NSソリューションズ（株） 会議室

（3）企業とNPOの交流・連携のための巡回フォーラムの企画・実施

助 成：（社福）宮城県共同募金会

企業とNPOとの連携や協働はいろいろな所で始まり、成果を上げてきているが、これらの連携はそれぞれが単独、単発である場合も多く、成果が多くの人々の目に触れる機会が少ないのが現状である。そこでせんだい・みやぎNPOセンターでは2003年度「企業とNPOの交流・連携のための巡回フォーラム」を石巻市・古川市・仙台市の3市で実施し、小冊子「企業が動くと地域はもっと動きやすくなる」を作成した。

ねらいの1つ目は、企業とNPOの連携や協働の促進のため企業人の主体的な参加とNPO理解の促進が何よりも大事であり、そのためには、そのような活動に参加している企業人の話を他の企業人に聞いていただくことが必要であること。

2つ目は、ボランティア・NPOの側も企業の活動の制約と可能性について理解を深めることが、相互の関係づくりには重要であるということ。

お陰さまで、このフォーラムを通じて企業間の交流はもちろんのこと、NPOと企業の方が出会い、いくつかのストーリーも生まれた。

第1回 仙台

日 時：2003年7月17日（木）13：30～17：00

場 所：エル・パーク仙台

内 容：「地域貢献サポートファンドみんな」設立記念、記念講演 & 市民ドネーションパーティ

ドネーションチケット総売上：46万7千円

出席者数：約100名

（*詳細参照 <http://www.minmin.org/fund/donepa200307report.htm>）

第2回 石巻 テーマ：「企業が動くと地域はもっと住みやすくなる」

日 時：2003年12月15日（月）14：00～16：00

共 催：特定非営利活動法人いしのまきNPOセンター

内 容：ゲストからの事例報告、講話「地域貢献で変わる！企業と労働組合の現状とその未来」

出席者数：約20名

第3回 古川 テーマ：「企業が動くと地域はもっと住みやすくなる」

日 時：2004年2月6日（金）14：00～16：00

共 催：特定非営利活動法人パートナーシップ古川

内 容：講話「地域貢献で変わる！企業と労働組合の現状とその未来」
ゲストからの事例報告

出席者数：約30名

第4回 仙台 テーマ：「企業が動くと地域はもっとすみやすくなる」

日 時：2004年3月11日（木）13：30～16：30

内 容：せんだい・みやぎNPOセンターが考える企業の地域貢献の形、6つのストーリー & 企業とNPOの名刺交換会

出席者数：約80名

（4）各地NPO推進機関との連携

1）NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会

9ページ参照

2）特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

2003年11月19日 市民社会創造ファンド懇談会（丸の内カフェ）

2004年5月14日 市民活動の「助成担当者」交流会（中央ろうきん）

今年度は、7月にみんなファンドがスタートしたこともあり、市民ファンドの運用を実施している「市民社会創造ファンド」との連携を強めておく必要があった。当センターでは、会員として積極的に参加し、情報交換に努めた。先駆的に企業から資金を預か

り、助成事業の事務局としてどのように運営しているのかなど、みんなファンドの運用にあたって参考になる点が多々あった。また、交流会では当センターの取り組みを企業系の助成財団に認識してもらう機会を得ることが出来た。

4. 情報サポート

(1) NPO情報ライブラリー

前年度と同様、事務局内での資料公開とインターネット上での情報公開を組み合わせた情報発信支援を行った。

サポート資源提供システムによる資源提供の増加を反映し、NPO情報ライブラリーへの登録数も順調に増加した。2004年6月末現在では、登録団体が102団体となり、年度当初目標(100団体)を達成することができた。

NPO情報ライブラリー ホームページ

<http://www.minmin.org/Library/>

同 登録団体一覧 <http://www.minmin.org/npo/n-index.php>

(2) 情報の収集

必要な書籍の購入、全国からのニュースレターの整理等、引き続き行って情報収集と整理に努めた。

(3) 情報の発信

1) 事務局通信「みんな」の発行(隔月発行)

隔月で会員むけに事業・運営に関する報告を行った。

Vol.34 2003年7月31日発行 Vol.35 2003年9月25日発行

Vol.36 2003年11月21日発行 Vol.37 2004年1月16日発行

Vol.38 2004年3月18日発行 Vol.39 2004年5月26日発行

2) 「FAXみんな」の発信(随時)

自主事業の講座やイベントの告知等に活用した。

対象：会員、NPO法人(県内、東北)、マスコミ、等

3) ホームページによる情報発信(随時更新)

前年度に引き続き、センター主催のイベントや講座の案内・報告といったフロー情報や、センター概要、活動報告・記録、収支決算、定款、役員名簿などのストック情報を随時掲載した。

トップページ (<http://www.minmin.org/>) に設置しているカウンターによるアクセス数は、以下の通りとなった。

年度内のアクセス数 29,726 件 (1日あたり約 81.4 件/日)

累積アクセス数 77,534 件 (2000年4月より)

1日あたりのアクセス数は、2000年度(約23件/日)、2001年度(約46件/日)、2002年度(約60件/日)と比べて順調に増加している。

	のべ訪問者数	閲覧されたのべページ数
2003/8	5,839	18,886
2003/9	7,783	22,564
2003/10	8,922	24,476
2003/11	8,949	25,941
2003/12	8,599	24,971
2004/1	9,983	27,791
2004/2	9,102	27,839
2004/3	10,696	33,271
2004/4	9,938	25,291
2004/5	9,898	27,886
2004/6	10,293	32,823
合計	100,002	291,739

なお、2003年8月より、サイトのホスティング先であるJ C A F E (特定非営利活動法人市民コンピューターコミュニケーション研究会)側のサーバー仕様変更に伴い、トップページだけではなく、サイト全体への訪問者数、閲覧されたページ数、各ページへのアクセス数などもカウントできるようになった。サイトへの、のべ訪問者数と、閲覧されたのべページ数を月毎にカウントしたのが左上表である。サイト全体ではのべ約9,000名/月(300名/日)の訪問者がいることがわかる。

さらに、ページの内容別に閲覧数を集計し、上位5位までをとったのが右表である。センターのトップページへのアクセスが多いのは当然といえるが、特筆すべきは、個別事業(サポート資源提供システム、みんなファンド、せんだいCARESなど=フロー情報)へのアクセスよりも、NPO情報ライブラリーや、センターの事業報告・収支決算など団体紹介(=ストック情報)へのアクセスが桁違いに多いことである。インターネット上での情報のニーズを考えると、大変興味深いデータと言えよう。今後も、このようなデータ解析を重ねながら、よりよいサイト運営を行っていきたい。

	閲覧ページ数
トップページ	94,540
NPO情報ライブラリー	45,512
センター団体紹介	17,699
サポート資源提供システム ・みんなファンド	8,973
せんだいCARES	4,891

(4) 書籍販売「みんな堂」

取扱い図書：60種

(5) 各種取材への協力

みんなファンドの設立、サポート資源提供システムの運用、市民活動サポートセンターの運営と仙台市との協働など、当センターの中核事業となるものへの取材が、行政、NPO、雑誌社などからあった。

5. 調査・研究・コンサルティング事業（行政・企業向け講師派遣・相談・委託）

（1）NPOへの人財サポートシステムの開発 2003（企業人ソフトランディングプラン 21）

ボランティア団体・市民活動団体・NPO（以下NPO）の活動を支える資源の中で、能力のある人材の不足を嘆く声が資金不足と共に常に上位を占めている。これは単なる個別団体の問題であるだけでなく、日本社会のボランティア文化の未成熟と、NPOを取り巻く「人」の要素に関わる知識と情報の欠如、受け入れNPO側のノウハウ不足などの構造的問題に起因するのではないかと推測される。

そこで当センターでは、2年にわたり地元企業と構築してきた「サポート資源提供システム」の成果を活用し、企業におけるNPOで活躍し得る人的資源の開発・提供とその受け入れ先NPOとの連携を円滑に行うためのシステムづくりを2ヵ年計画で実施することにし、本年が2年目となった。

事業2年目の目標（2003年度）として、企業人材の社会参加促進、定年後のソフトランディングなどに対する企業側・労働組合側のヒアリング調査を行い、課題の抽出を行った。

労働組合

JR東労組仙台地方本部、エヌ・ティ・ティ労働組合東北総支部、仙台市職員労働組合、東北電力労働組合宮城県本部、ユアテックユニオン宮城支部、連合宮城

企業

カメイ（株）、（株）NTTドコモ東北、（株）鐘崎、（株）七十七銀行、（株）仙台銀行、（株）デンコードー、（株）藤崎、（株）ユアテック、宮城トヨタ自動車（株）

（2）地域貢献活動相談センター

センター入り口に大きく「地域貢献活動相談センター」の看板を掲げた。常時、相談を受け付けているが、さまざまな相談や来訪、打ち合わせなどと同時に、せんだいCARE Sのお薦めやサポート資源提供システムの紹介、アレマキャンペーンの説明など、さまざまな相談に対応してきた。

（3）みやぎ青年育成推進事業・みやぎ地球市民すくすく計画 2003

「青年リーダーすくすくプログラム（市民プロデューサー養成講座）」への講師派遣

主 催：宮城県（環境生活部青少年課人材育成班）

実施期間：2003年6月～12月

2003年6月21日・22日	ステップ1
2003年6月28日	ステップ2
2003年8月30日	ステップ3
2003年9月20日	ステップ4 - (i)
2003年9月28日	ステップ4 - (ii)

2003年12月6日 ミニ企画実践報告会

<2004年2月7日 すくすく地球市民の集い(市民向け全体発表会)>

実施内容：

4年目となった「青年リーダーすくすくプログラム(市民プロデューサー養成講座)」は、ようやくプログラムとしても、充実した内容となってきた。特に今回は、講師としてもサポートセンターに勤務する当センタースタッフが複数活躍する機会が増えた点が大きな特徴といえる。今回より、「ラフ・プランシート」を導入。企画の最初と中間点でそれぞれの企画状況を図る目安となる機会を提供した。

成 果：

当初は参加者のモチベーションが低いように思われたが、当センタースタッフの丁寧なアドバイスやフォローにより、インターンシップ体験やミニ企画を実施した参加者が多かった。講師も参加者も、インターンシップ先も、ともに学ぶことが出来る事業であり、NPOと若者をつなぐ事業としても評価できる結果となった。

(4) まち美化に関する市民活動推進のための支援事業

委 託 者：仙台市(環境局廃棄物管理課)

実施期間：2003年4月～2004年3月

実施内容：

ごみの散乱のない快適なまちづくりを市民、事業者、行政の協働により効果的に進めるため、まち美化に関する市民活動を活性化し、活動相互の連携を図ることを目的としている。事業内容としては、

1. 全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃キャンペーンの実施

春：平成15年5月17日～平成15年6月8日

秋：平成15年9月20日～平成15年10月13日

(キャンペーンの企画・調整、報告書の作成)

2. アレマ隊活動オープン会場の実施

・オープン会場の運営

・平成15年5月25日：匂当台公園市民広場

(企画・コーディネート、調査清掃活動体験の引率等)

3. アレマ会議の実施

・平成15年11月7日：仙台市市民活動サポートセンター

(企画・コーディネート)

4. アレマ隊員養成講座の実施

・平成15年9月7日：本庁舎会議室

(企画・コーディネート)

5. まち美化タウン・ミーティングの開催

・平成15年8月20日：エル・パーク仙台
(企画・コーディネート)

6. 仙台まち美化ネットワーク通信(アレマ新聞)の発行

・平成15年9月・平成16年3月
(企画・取材・原稿作成・編集・レイアウト)

成 果：

平成15年度で5年目を迎えた本事業は、平成17年度までの4年間に行う中・長期計画の1年目となり、新たな展開も視野に入れて取り組むこととなった。その成果は、毎年行われてきたアレマキャンペーンやアレマ隊員養成講座、アレマ会議のいずれも、参加してくれる市民層が、新たな参加者も加えて毎年増加していることに表れている。なかでも、ことしは秋のキャンペーン時に4,000人を超える参加があった。このことは、継続して行ってきた本事業の成果がようやく数字的に見えてきたものである。

(5) 百年の杜づくりフォーラム管理運営業務

委 託 者：仙台市(建設局百年の杜推進部)

目 的：百年の杜づくりフォーラムは、平成14年度「各区フォーラム」として5区それぞれ1回ずつ開催し、参加者179名による熱心な討論の結果、さまざまな意見が寄せられた。平成15年度はこれを踏まえて、「意見を出し合う場」から「自分で動き出してみる場」「市民活動の仲間を育てる場」への発展を目指し、市民協働による百年の杜づくりを促進した。行政による主導・誘導ではなく、市民の意見を引き出し、市民が自ら動く、市民主体のフォーラム運営を基本とした。さらに、このフォーラムが終了した後も、将来的に市民活動・市民組織が続くことを視野に入れた支援を行うことを考慮した。

内 容：フォーラムの運営管理

フォーラム運営会議の実施

(i) 仙台に「残したい緑」を調べよう

第1回 7/26(土)10:00~12:00 市役所上杉分庁舎5階会議室
仙台市の緑の現状について理解を深め「残したい緑」を調べるための方法を学ぶ

第2回 8/30(土)10:00~12:00
市内調査エリア〔北山/東照宮/定禅寺~勾当台公園/屋上緑化〕街に出て緑とその周辺の状況を見て調べる

第3回 10/5(日)10:00~12:00 市役所本庁舎6階会議室
「残したい緑」のためにできることについてのまとめと提案づくり

(ii) 地域に特色ある公園をつくらう

- 第1回 7/26(土) 13:30~15:30 市役所上杉分庁舎5階会議室
地域に特色ある公園をつくるための基本知識やプロセスを学ぶ
- 第2回 8/30(土) 13:30~15:30 錦町公園、北三番町公園
市民参加でつくられた公園を見に行く
- 第3回 10/5(日) 13:30~15:30 市役所本庁舎6階会議室
地域に特色ある公園づくりを進めるためのまとめと提案づくり

(iii) 緑のボランティア活動をしよう

- 第1回 8/2(土) 10:00~12:00 市役所上杉分庁舎5階会議室
緑のボランティア活動の種類や現状を出し合い、取り組みたい活動について話し合う
- 第2回 9/7(日) 10:00~12:00 水の森公園キャンプ場
外に出て緑のボランティア活動を体験する
- 第3回 10/12(日) 9:30~11:45 仙台市市民活動サポートセンター
地域で緑のボランティア活動をするためのまとめと提案づくり

(iv) 子どもたちに緑の体験をさせよう

- 第1回 8/2(土) 13:30~15:30 市役所上杉分庁舎5階会議室
体験メニューを考えて、企画をたてる
- 第2回 9/7(日) 13:30~15:30 水の森公園キャンプ場
実施のための下調べ
- 第3回 10/16(木) 11:00~12:00 市役所 建設局会議室
ふりかえり

百杜わいわい交流会

- 番外編 10/25(土) 10:00~12:00 市役所上杉分庁舎5階会議室
百杜フォーラムのふりかえり、テーマ毎の成果発表、交流会

(6) 起業家育成・支援事業(アクティブシニア・ビジネス部門)の企画・運営

委託者: 宮城県

実施期間: 2003年8月~3月

実施内容: 中高年者によるコミュニティビジネス立ち上げの誘導・促進を図ることにより中高年者の持つ経験・技術の社会への還元及び社会参加を促進する。また、あわせて中高年者が地域資源を活用し起業することにより、地域の活性化につなげることを目的としたもの。

参加者数: 応募者 12 団体・個人

内容:

- 1) 事業実施に係る各種アドバイザー業務

2) 募集告知

送付先：約250団体・個人(当センター会員、県内NPO関係団体、県内市民活動支援センターなど)への発送

3) 講習会開催(平成15年10月10日)

講師：せんだい・みやぎNPOセンター代表理事 加藤哲夫

参加者数：応募者12団体・個人のうち、9団体・個人(計9名)が参加

会場：宮城県自治会館にて(午後1時30分～3時30分)

4) 相談会の開催(平成16年1月8日)

相談者：当センター 代表理事 加藤哲夫

同上 常務理事 紅邑晶子

参加者数：6団体・個人の合格者のうち、5団体・個人(計5名)が参加

会場：宮城県庁10階・会議室にて(午前10時～午後3時40分)

5) 平成14年度応募者に対する起業状況調査の実施

6) その他委託業務全般に関するコンサルティング業務

成果：

「事業計画書作成について」というテーマで、新規事業計画のアプローチのしかた、事業計画の作成方法、収支計画の立て方、起業コンセプト確認のためのワークなどを実施した。書類審査(第1次審査)を実施する前に、全応募者を対象にした講習会を開催した。8割強の参加者があり、参加者からは活発な質疑があり、事業に対する真剣さと熱意が伝わってきた。また、2003年12月19日に行われた「認定検討会幹事会(1次審査)」にて合格した6団体・個人の合格者のうち、希望者を対象に相談会では、事業実施に係る質疑応答や事業計画改善等に関する助言を行った。

本事業は、2年目となる事業で応募数は昨年より減少したが、昨年に比べ仙台市以外の市町村からの応募が増えた。また、男女比率も同様に近い状況となり、女性が起業する上で参加の機会を提供するものとして、認知されてきたようである。

このことを踏まえて、また、今年初めて実施された協働の事業評価(レビュー)において、率直な事業に対する意見交換を行い、本事業の展開について中間地点でのり合わせを行うことができた。

(7) 石巻地域新市まちづくり計画検討委員会運営支援業務

委託者：石巻地域合併協議会

目的：石巻地域1市6町の合併による新市の発展的な建設に向け、1市6町の速やかで円滑な融合・一本化を促進し、地域の持続的発展と住民福祉の向上を目指した新市建設計画(まちづくり計画)を策定するにあたり、新市の将来像やまちづくりの方針を地域住民とともに検討し、地域の意見を新市建設計画(新市まちづくり計画)に反映させていくために組織する新市まちづくり計

画検討委員会を、円滑で効果的な運営をしていくため実施するものである。

実施内容：新市まちづくり経過検討委員会の運営・企画に関する業務

検討委員会開催のための事務局会議に関する業務

石巻地域新市まちづくり計画検討委員会

- 2003年8月12日 第1回 新市まちづくり計画等についての説明
- 2003年9月5日 第2回 現状把握と課題の整理
- 2003年9月8日 第3回 基本理念、基本方針の検討
- 2003年9月19日 第4回 まちづくりの基本理念、基本方針をつくる
- 2003年12月 第5回 (11月～12月：住民懇談会)
- 2004年1月19日 第6回 基本方針に基づく施策と事業を考える(その1)
- 2004年2月4日 第7回 基本方針に基づく施策と事業を考える(その2)
分野別アドバイスと質疑・意見交換
(1)産業・雇用(2)健康・福祉(3)自然環境と共生
- 2004年2月17日 第8回 基本方針に基づく施策と事業を考える(その3)
分野別アドバイスと質疑・意見交換
(1)教育・文化(2)市民活動・人材(3)効率の高い行財政
- 2004年3月1日 第9回 (1)7つの基本方針に基づく施作と事業のまとめ
(2)公共的施設の統合整備方針(有効利活用)をつくる

成 果：

前半の検討委員会では、合併協議会に提出する基本理念と基本方針づくりをすることに時間を割いた。1市6町の合併ということなので、石巻市は9名、各町からは3名ずつ、それに石巻市職員3名、各町の職員6名が参加してのワークショップ。合併するということについて共通認識をもつ上で、まず最初に、自分の地域の事をよく知り、他の市や町のことも理解することから始めることが大切であることを今回のワークを通じて強く認識することが出来た。回が進むにつれて、俯瞰で新市の行政サービスを考える目が参加者の中に形成されていくなかで、それを受け止める合併協議会のメンバーとの意識の差が気になっていた。いよいよ、合併協議会へ新市まちづくり案提案というときに河北町離脱という事態となり、その結果が宙に浮いた状態のまま、事業終了となった。

(8) クリーン仙台推進員平成15年度グループ学習会運営業務

委 託 者：仙台市(廃棄物管理課)

目 的：「クリーン仙台推進員」(以下推進員という)の中には、活動への意欲はありながらも、具体的にどのような活動をしたらよいのかわからない、近隣推進員との接触が少ないなどの理由から具体的な活動に移れない推進員が少な

らずいる。また、従来型の推進員全員を対象とした研修では、自律的な解決方法の立案、調査、研究を深めることが困難である。

そこで、平成12年度から実施しているワークショップ形式の学習会を開催し、地域で起こっているごみ問題について整理し、問題解決に向けた市民へのPR手法などを学習することにより、クリーン仙台推進員自身のスキルアップを図るとともに、推進員間のネットワーク形成を目指す。

事業内容：グループ学習会は、以下の日程と参加で全5回を開催した。

第1回グループ学習会

日 時：平成15年9月16日（火）午後1時30分～3時30分

場 所：仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室

参加者数：84人

内 容：「交流と疑問解消の巻」

第2回グループ学習会

日 時：平成15年10月7日（火）午後1時30分～3時30分

場 所：仙台市役所二日町仮庁舎 7階 会議室

参加者数：72人

内 容：「分別研修講師になろうじゃないかの巻」

第3回グループ学習会

日 時：平成15年11月4日（火）午後1時30分～3時30分

場 所：仙台市役所二日町仮庁舎 7階 会議室

参加者数：74人

内 容：「告知・PR・苦情相談対応方法など開発の巻」

第4回グループ学習会

日 時：平成15年12月9日（火）午後1時30分～3時30分

場 所：仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室

参加者数：67人

内 容：「グループ活動のつくり方の巻」

第5回グループ学習会

日 時：平成16年1月13日（火）午後1時30分～3時30分

場 所：仙台市役所二日町仮庁舎 7階 会議室

参加者数：65人

内 容：「グループ活動・活動報告大会の巻」

成果と今後の課題：

今年度のグループ研修は、前年度の延べ参加人数187人に対して、今年度の延べ参加人数は362人と、約2倍！の増加であった。そのため毎回とも会場のキャパに対して、参加者が多く、よく言えば熱気あふれる、悪く言えばすし詰め状態であった。参

加者からも熱気は評価するものの、すし詰めは解消すべしとの悲鳴がいくつも上がっていたほど、密集した研修になった。

このことは、本事業が、クリーン仙台推進員や町内会役員などにある程度認知され、浸透してきたものと考えられる。もちろん、環境問題への関心の高まりや分別などの啓発効果も相乗していることは言うまでもないが、やはりグループ学習会のプログラムと推進員相互の交流と知恵の交換が、役に立つ研修との認知向上につながったものと思われる。

本事業は、この4年間に担当者が3人も入れ替わり、また、今年度より、担当課もリサイクル推進課から廃棄物管理課に変更になるなど、不安定要素の大きい事業であったが、施設見学会や委嘱式、宮城野区での活動報告会開催なども含めた総合的な事業展開が図られており、学習会プログラムの確立と共に、年を経るにしたがって効果が高まり、市民による自発的な取り組みが姿をあらわしてきていると言える。

(9) その他、自治体職員向け研修・講師派遣

自治体職員向け研修：20件

	研修名	主催	実施日
1	「パートナーシップとは？」 「管理職に求められるもの」	仙台市職員研修	2003/7/9・10
2	幹部セミナー	(財)ふくしま自治 研修センター	2003/7/14
3	市民と行政のパートナーシップ研究会	北上市企画調整部企 画課	2003/7/17・25・8/11・28・29・ 9/11・2004/1/30
4	ステップ2 研修住民協働ワークショップ	(財)ふくしま自治 研修センター	2003/7/30・8/26・9/10・17・ 10/1・11/11・26・12/2・16・ 2004/1/21・2/2・3・4
5	市民との協働促進のための課長研修	松山市市民部市民活 動政策課	2003/8/18
6	宮城広瀬高校教職員研修	宮城広瀬高校	2003/9/9
7	東北六県行政課題研修	東北自治研修所	2003/10/20・21・22
8	NPOとの協働に向けた説明会	岩手県地域振興部	2003/11/17
9	福島市市民活動サポートセンター検討懇談会(コ ーディネーター)	福島市	2003/11/28・12/16・ 2004/1/21・24・4/13・4/27・ 5/11・25・6/4・22
10	職員研修	柴田町	2004/1/16・20
11	職員研修	亀山市	2004/1/26
12	パートナーシップの形成	宮城県消防長協会	2004/1/29
13	食生活改善地区組織育成強化推進会議	宮城県保健福祉部	2003/1/30
14	職員研修	塩釜市	2004/2/6

15	市民センター職員接遇研修	(財)仙台ひと・まち交流財団	2004/2/26・27
16	平成16年度職員研究員研修「外から見た都市総研、公共を担う市民の力、行政と市民との対話等」	仙台都市総合研究機構	2004/4/23
17	協働推進ワーキンググループ	仙台市市民局	2004/4/26・5/10・27・6/8
18	平成16年度課長補佐級研修「教養講話」	山形県職員研修所	2004/5/11・18・6/2
19	平成16年度監督者研修I「NPO(市民との協働について)」	宮城県市町村職員研修所	2004/5/12・19・25
20	平成16年度係長研修「市民協働と実際」	仙台市職員研修所	2004/5/18

6. 特別事業

(1) サポート資源提供システムの運用

サポート資源提供システムの事業年度は、4月1日より翌年3月31日となっている。2004年3月末まで(サポート資源提供システム2003年度)の事業報告については、2004年5月26日開催のサポート資源提供システム運営委員会にて報告が行われた。38ページ以降に報告書を掲載する。

その後、2004年4月～6月の間では、以下の事業が行われた。

1) サポート資源提供システム運営委員会の開催

2004年度第1回運営委員会

2004年5月26日 16:10～17:45 仙台市市民活動サポートセンター研修室4

- ・2003年度事業報告・収支報告について
- ・2004年度事業計画・収支予算について ほか

2) 「みやぎNPO夢ファンド」(資金提供:みんみんファンド)

みんみんファンド内の「冠ファンド」として設置された宮城県のNPO支援基金「みやぎNPO夢ファンド」からの第1回助成が以下の通り実施された。

- ・募集期間 2004年3月20日～4月8日
- ・応募団体数

(1) 人材育成支援プログラム	9団体
(2) ステップアップ支援プログラム	16団体
(3) スタートアップ支援プログラム	14団体
- ・書類審査 2004年4月14日～20日
- ・書類審査通過団体数

(1) 人材育成支援プログラム	9団体
(2) ステップアップ支援プログラム	4団体
(3) スタートアップ支援プログラム	11団体

- ・公開コンペ 2003年5月8日 人材育成支援プログラム および
ステップアップ支援プログラム
2003年5月15日 スタートアップ支援プログラム
- ・助成先 (1) 人材育成支援プログラム 助成団体数：5団体
特定非営利活動法人グループゆう
東北HIVコミュニケーションズ(THC)
特定非営利活動法人宮城県断酒会
特定非営利活動法人あかねグループ
せんだい杜の子ども劇場21
- (2) ステップアップ支援プログラム 助成団体数：2団体
特定非営利活動法人仙台夜まわりグループ
子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ(キャプネット・みやぎ)
- (3) スタートアップ支援プログラム 助成団体数：6団体
親子関係を考える会
水魚方式研究会
シナイモツゴ郷の会
NPOパソコンママネット
特定非営利活動法人シャロームの会
片平たてももの應援團

なお、審査結果などを掲載した「みやぎNPO夢ファンド」ホームページを開設し、情報公開に努めた。(<http://www.minmin.org/fund/miyagi/>)

3) 「ろうきん地域貢献ファンド」(資金提供：みんなファンド)

前年度と同様、150万円の助成金を提供いただいた。1団体あたりの助成金額上限30万円で、以下の通り募集を行った。

- ・募集期間 2004年6月1日～30日
- ・応募団体数 26団体

2004年7月中に審査が行われ、助成金が提供される予定である。

ホームページ掲載時の注釈

会員向けに発行した事業報告書では、37ページから55ページに「サポート資源提供システム2003年度事業報告」が挿入されています。ホームページ上では、この事業報告は、

http://www.minmin.org/SSS/SSS_houkoku2003.pdf

からダウンロード可能です。そちらのページをご覧ください。このファイルでは当該ページは割愛します。

(2) 仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営

委託元：仙台市（市民局地域振興課）

業務内容：施設管理業務

情報収集提供業務

相談業務

連絡調査業務

人材育成業務

サポートセンターまつり事業

市民活動起業（コミュニティビジネス）講座事業

資料の購入

その他

平成15年度の取り組み目標（当センターで設定）

「4年間の蓄積をふまえ、具体的で即効性のあるサポートメニューを提供する。」

A：ターゲット別、ニーズ別のサービスの成功事例を可視化する。

B：既存データを活用し、支援メニューを開発する。

具体的な取り組み

団体定点観測：団体の成長プロセスを分析する。

サポセン物語：サポセン利用団体や利用者の活動にまつわる成功事例やエピソードを綴り、ぱれっと及びホームページ等、適切な媒体を活用して発信する。

相談内容の分析：顧客を特定し、類型化して深める。

平成15年度市民活動サポートセンター利用状況の総評（H15.4.1～H16.3.31）

場の提供業務

1. 利用者総数及び利用件数

平成15年度のサポートセンターの利用者総数は、44,183人（【表1】前年比99.6%、161人）利用総件数は、18,196件（【表1】前年比109%、+1,509件）となった。貸室件数は前年

項目		14年度(件)	前年比	15年度(件)	前年比
a	貸室件数	2,896	115.3%	2,870	99.1%
b	フリースペース利用件数	1,891	115.9%	2,179	115.2%
c	印刷機利用件数	2,346	95.8%	2,415	102.9%
d	パソコン利用件数	938	141.1%	2,087	222.5%
e	レターケース取り扱い数	4,100	133.9%	4,114	100.3%
f	情報掲示受付件数	2,988	103.9%	3,146	105.3%
g	相談件数	1,345	100.6%	1,309	97.3%
A	総利用件数	16,687	113.9%	18,196	109.0%
B	利用者総数(人)	44,344	111.4%	44,183	99.6%

よりも下回っているが、情報サービスの利用件数は相談を除いて増えていることがわかる。

また、貸室の利用状況は、部屋別使用率の年間平均の推移をみると、研修室タイプの定員30

名以下の需要が高いことがわかる。（【表2】を参照）

また、現在、仙台市中心部での市民活動の拠点整備については、サポートセンターの開館以来、みやぎNPOプラザ（00.4.21開館）、せんだいメディアテーク（01.1.26開館）、エル・パーク仙台（市民活動スペース：03.5設置）、エル・ソーラ仙台（市民交流スペース：03.5.26開館）などが生まれている。市民活動団体にとって、サポートセンター以外の多様な場が選択できる環境が整ってきている。

部屋名	14年度	15年度	前年比
セミナーホール	81%	81%	100%
研修室1	92%	90%	97.8%
研修室2	93%	90%	96.8%
研修室3	76%	79%	103.9%
研修室4	91%	90%	98.9%
会議室	69%	68%	98.6%
親子交流サロン	75%	79%	105.3%

*平成14年度より、現在の集計方法となる。

このような状況の中で、サポートセンターの役割として、仙台市中心部での市民活動のポータルサイト（玄関口）としてのソフトサービスの需要（利用件数）は、まだまだ増えていくと思われる。

2. 利用団体状況

平成15年度の来館利用団体数は、利用票の集計からは、のべ7,904団体である。また、開館以来の団体情報の蓄積は、4,389団体（前年比120.8%、+757団体）となった。分野別内訳では、相変わらず各分野の団体が幅広く利用していることが分かるが、平成13年度以降、環境分野の団体の貸室等利用総数が減少傾向にある。今後は、新規利用の団体と継続して利用いただいている団体の状況を分析することを加えていきたい。

また、利用団体の中でも、ロッカー、レターケース、事務用ブースを利用している団体には、定期的に活動報告書の提出をお願いしている。今年度は、以前の報告書フォームでは活動内容を列記する形式で、些か義務的に提出している感が否めなかったため、報告書フォームの改訂を行った。そこで、活動の目標と成果・課題を記入することによって自己点検が可能で、その結果、さらに団体がお勧めする情報の発信ができるようなツールとして活用できるよう改訂した。利用団体の反応は大変好評であった。また、事務用ブース利用団体分を情報サロンに掲示したことで、来館者への目に触れやすくなり、団体の情報発信の機会となった。今後も引き続き、団体の活動成果などの情報発信支援を工夫していきたい。

3. 施設の管理状況

サポートセンターの設置からまもなく5年を迎えるが、建物の建築年数も40年ほど経ち、空調や水道設備などの施設トラブルが非常に多くなってきた。トラブル報告書の記録を見る限り、年間で約60件となった。日常的にスタッフが対処できる内容についてはその都度対応し、破損や故障等の状況に応じて補修が必要な場合は契約業者に修繕していただいた。利用者に対しては、引き続き安心して利用できる環境整備と安全の確保に努めるが、宮城県北部地震以降、耐震性の問題が懸念される。

4．防災に関する取り組み

5月、7月に宮城県北部地震が発生した際に、サポートセンターでは災害ボランティアの情報を館内に掲示するとともに、スタッフ間の連絡・安否確認の連絡対応のマニュアルを整備した。また、昨年に引き続き11月を防災キャンペーン期間とし、貸室利用時に窓口にて、利用者への避難経路の説明を強化した。

情報関連業務

5．情報掲示利用状況

平成15年度のチラシ・ポスター・ニュースレターなどの情報掲示利用は、3,146件（前年比105.3%、+158件）となった。サポートセンターのチラシコーナーは、市民やマスコミ関係者も情報源として利用しており、市民活動の情報が整理されていて使いやすいと評価されている。また、利用者意見交換会などの場において、利用団体から助成金情報など市民活動に関する情報が入手しやすく、また、サポートセンターにチラシを配置することは大変に有効であるなどのコメントをいただいた。団体の情報発信支援のサービスとして、ますます重要となっている。

6．相談対応

（1）今年度の相談傾向・特徴・変化

平成12年から15年までの相談総件数をみるとほぼ1,300～1,345件/年で落ち着いている。窓口業務や施設管理などと平行して相談業務を行う現状のスタッフ体制では、これ以上の件数の伸びはないだろうと推測する。相談者属性の年度推移を見ると、ここ3年でほとんど割合に変化がみられない。また、相談内容の内訳についても、ほぼ同じ割合で推移している。市民活動団体の中では、ホップ段階の相談が7割以上をしめ、全体の5割は団体についての問い合わせであることがわかった。

（2）サポートセンターが今後相談対応で果たす役割について

開館から今年度までの相談に関する数値を見てみると、件数、内訳、属性など今後大幅な変化はないと考えられる。今後は、サポートセンターとして相談機能をどのように展開させていくか、ターゲット設定とサービスの整備になど、これまでの蓄積をもとに検討していかなければならないと考える。ひとつには、相談者属性で企業関連の利用は8.4%であったが、市民・企業・行政の連携及び交流の推進をすすめるサポートセンターにとって、さらにこうした対象へのPRが必要になってくるのではないかと考える。また、団体情報についての問い合わせが5割を超える市民活動相談では、今後ますます団体情報検索ツールの整備が必要となることが課題として浮かび上がった。

スタッフの相談対応力については、現在のところサポートセンター独自で目安となるレベル設定や利用者アンケートなどは行っていない。今後、具体的な目標設定とそれに向けた研

修プログラムを確立していきたい。

7. パソコン利用状況

平成 15 年度のパソコン利用件数は、2,087 件（前年比 222.5%、+1,149 件）となった。これは、昨年の 4 月からのインターネット閲覧パソコンの導入により、その利用によるものである。最近は、作業用のパソコンよりもインターネット閲覧パソコンの利用件数が多くなっている。今後も、市民活動へのインターネット利用は増えていくことが予想されるため、利用状況を見て、作業用パソコンとインターネット閲覧パソコンの台数比率を検討する必要が出てくるだろう。

8. 印刷機利用状況

平成 15 年度の印刷枚数は 2,207,278 枚で、20 万枚 / 月ほどの活発な利用が続いている。最近、チラシや会報の印刷の他にも、封筒やハガキなどの印刷も増えており、特殊な印刷物をする際に、その都度スタッフが作業方法を説明している。このような作業を効率化するために、印刷作業の各ノウハウを、分かりやすく表示するように工夫をしていきたい。また、新しいニーズとしては、利用者からカラー印刷の要望もあった。

9. 「ぱれっと」の発行について

創刊以来 55 号となった「ぱれっと」であるが、8 月 20 日発行号より新企画を加え、リニューアルした。市民活動について知りたい人、市民活動団体のサービスを求めている人、市民活動団体の支援者となり得る人に向けて、仙台で活躍している市民活動団体の成長の過程や活動の成果を発信することを意識した。

また、スタッフによる拡大編集会議などの情報収集・共有の工夫をしながら、タイムリーな情報発信を心がけた。

10. サポートセンターホームページによる情報発信

ホームページ開設から 2 年。これまでのアクセス件数は、平均約 1,500 件 / 月である。昨年度末にサポートセンターの事業記録やお役立ち情報など、ストック情報のコンテンツを整備したこともあり、実務的には、更新作業の体制を整えることができた。

アクセス件数からみて、改良の余地はまだまだあると言える。サポートセンターのサービスメニューの改善と併せて、ホームページの有効活用を進めていきたい。

事業関連業務

日頃、利用者とのコミュニケーションを通して得られる情報やこれまでの各事業の成果の蓄積などを踏まえ、より具体的な対象者（顧客）の設定のもと、企画実施が可能になってきたと言える。今後ますます徹底した顧客分析と市民活動事情の把握は必須である。日常から利用者

との情報交換はもちろんのこと、スタッフ間の情報共有のあり様も工夫が必要である。

11. サポートセンターまつり（市民活動カラフルフェスタ）

今年度は開催期間を1週間としたことによって、協力団体による講座や体験企画、地域との連携を通じて、市民活動団体間の交流の機会提供や市民と団体との出会いの場の提供をより多く提供することができた。今後は、これからの公共施設の未来を見据えて、市民の参画のあり様と公共施設の役割を検証する機会を生み出した成果を今後のテーマとしてつないでいきたい。

12. 人材育成事業

今年度は、対象者の絞込みを行い、テーマを設定するにあたっては、市民活動団体の活動サイクルを想定しながら、開催時期の設定を行った。いずれも団体運営に欠かせないマネジメントを学ぶ機会を提供した。今後も、参加者のニーズによって、日常の相談対応と講座との連動を図りながら対応していくことが必要である。

13. 市民活動起業講座事業

参加者にとって今回の入門編、ステップアップ編、訪問編の3部構成は、参加しやすさをもたらしたようである。また、入門編の広報時に、全日程を予め告知できた効果も見られた。また、参加者のニーズによっては、人材育成講座の内容と連動させたことによって、さらにスキルアップの機会を提供することも可能になることがわかった。今後、より専門性を持ち得る他機関との連携を強化することで、これから自らが主体となって活動を生み出そうとする人への援助の厚みが増すことになると考える。

14. さぼ談（利用者意見交換会）

日常的には、窓口業務をはじめ、利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、日頃からサービスの改善に取り組んできている。今年度の“さぼ談”は、利用者がより主体的に情報交換する場として設定し、団体間のノウハウ交換にも役立つ場とした。参加者より、利用者主体の掲示板が提案され、次年度から設置する方向となった。

15. 本町夏まつり

開館以来参加している本町夏まつりでは、市民活動カラフルフェスタを機に、本町商店街振興組合とコミュニケーションを深めてきている。このところ、サポートセンター利用者も夏まつりに足を運んでいる様子が伺える。サポートセンターから街へ賑わいが波及することを期待しつつ、地元地域との連携を引き続き模索していきたい。

16. その他

視察・見学・取材対応は開館4年を経過し減少傾向にはあるものの、まだまだ続いている。今年度は76件、309名（前年差：45件、231名）県内に限らず、全国からセクターを超えてご来館いただいている。特に、公設民営の市民活動支援施設の現場として、設置主体の行政と管理運営団体の支援組織の視察・見学は後を立たない。支援組織側については、スタッフ研修の機会として、見学にいらっしゃるケースが増えている。

今年度は2月以降の人事の変更に伴ない、業務の引継ぎ作業と新人研修を組み込みながら、日常業務の対応を行ってきた。これまでの蓄積を活かしながら、利用者ニーズを捉えて、質の高いサービス提供に努めていきたい。また、市民活動支援機関としての自覚をもって、新たにチームワークを育んでいきたい。

ホームページ掲載時の注釈

会員向けに発行した事業報告書では、この後に、収支関係資料および資料編が添付されています。ホームページ上では、収支関係資料については以下のURLから閲覧可能です。

http://www.minmin.org/Whats_se_mi/yosankessan.htm

資料編の掲載については、省略させていただきましたので、ご了承ください。